

統合開発環境 e2 studio V4.1.0.018 ご使用上のお願い

統合開発環境 e2 studio V4.1.0.018の使用上の注意事項を連絡します。

1. メモリ使用量表示機能に関する注意事項
 2. シミュレータのメモリ領域設定機能に関する注意事項
-

1. メモリ使用量表示機能に関する注意事項

1.1 該当製品

e2 studio V4.1.0.018

1.2 対象マイコン

RXファミリ: RX230グループ, RX231グループ および RX23Tグループ

1.3 内容

メモリ使用量表示機能は、RX230グループ および RX231グループ用プロジェクトでは使用できません。また、RX23Tグループ用プロジェクトでは0x00004000～0x00004A7F番地が空き領域として扱われ、正しい結果が得られません。

1.4 回避策

メモリ使用量表示機能は使用せず、mapファイルを参照してください。

1.5 恒久対策

今後のバージョンで改修する予定です。

2. シミュレータのメモリ領域設定機能に関する注意事項

2.1 該当製品

e2 studio V4.1.0.018

2.2 対象マイコン

RXファミリ: RX230グループ, RX231グループ, RX23Tグループ および RX634グループ

2.3 内容

シミュレータのメモリ領域設定機能は、RX230グループ および RX231グループ用プロジェクトでは使用できません。また、RX23Tグループ用プロジェクトでは0x00004000~0x00004A7F番地が設定画面に表示されず、RX634グループ用プロジェクトではIOレジスタ領域が設定画面に表示されません。

2.4 回避策

回避策はありません。

2.5 恒久対策

今後のバージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。